

1, 来年度要望書を提出
 2, 竜巻・台風被害対策の要望書を提出



要望書提出時の写真。井上は一番右

1, 来年度要望書を提出

マンガでもご紹介しましたが、私が所属する会派「刷新の会」では、一層の県民目線での県政発展を念頭に置いて取りまとめた「平成26年度 埼玉県予算編成に関する要望書」を10月11日上田知事に提出しました。

和光市に関わる地元問題 では

- 下新倉地区への小学校新設に伴う国庫補助確保に向けた協力や周辺道路への安全対策（信号機設置等）
- 国道254号（川越街道）に架かる第二中学校前の横断歩道橋の修繕と手すり設置の要請
- 新河岸川の河川工事の早期完成と、周辺の農業利水の継続、及び災害時等に船着き場等として利用できる護岸整備
- 県道（オリンピック道路等）の歩道安全対策や大和橋南側への横断歩道設置などの交通安全対策の実施

など16項目を要望しました。今後も実現に向け、県に対して粘り強く要請を続けてまいります。

小児救急医療など県に25項目を要望
 刷新の会・刷新の会
 県議会の刷新の会（鈴木正人代表）は15日までに、上田清司知事ら執行部に、2014年度の予算編成に向けた重点要望と施策を提出した。
 県の各部署の関連として、184項目、志木市や鴻巣市などの8市に関して地元の問題を市別に111項目取り上げ、計295項目でまとめた。県の各部署別に提出した要望には、県小児救急電話相談（#8000）の相談体制の充実や災害時要援護者の避難体制の整備、行政に協力しているNPO団体への補助金の拡大などを盛り込んだ。地元の問題としては、ガレドレールや手押しボタンの設置などを求めた。

埼玉新聞 10月16日朝刊

2, 竜巻被害及び台風18号被害に対する緊急要望書を提出

この夏、越谷市や松伏町では竜巻によって甚大な被害が発生しました。また熊谷市等でも台風18号によって大きな被害が出ています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。刷新の会では、これらの災害発生を受けて、災害救助法の規定に該当しない被災者の救済や防災情報体制の強化などを盛り込んだ緊急要望書を9月17日、上田知事に提出しました。県には被災した方々へのきめ細やかな対応をお願いすると共に、今後の更なる防災対策強化を要請しました。

防災情報体制強化を要望
 刷新の会
 刷新の会（鈴木正人代表）は17日、竜巻や台風被害に対する緊急要望書を上田清司知事に提出した。要望書では、被災者の実情に配慮し災害救助法を柔軟かつ最大限活用することや、自宅に住めない被災者向けの民間賃貸住宅の借り上げ制度の適用、県独自の災害見舞金・生活再建支援制度の創設、今後には被災者の生活再建支援体制の強化などを求めている。

埼玉新聞 9月18日朝刊

ホームページもご覧ください！

井上わたる 検索

http://inouewataru.com/

埼玉と和光の政治をわかりやすく伝えます！

「井上わたるの和光ブログ」
 twitter や facebook も活用中！
 http://inouewataru.blog.shinobi.jp

※このチラシは多くの方の協力によって配布しておりますが、投函を希望されない方は右記事務所までご住所・お名前をお知らせくださいますようお願い致します。

発行：埼玉県議会議員 井上わたる
 連絡先：井上わたる事務所（刷新の会 和光支部）
 〒351-0112
 埼玉県和光市丸山台1-10-18 アントワープ平岡503号室（ドラッグストア「内観堂」の5階）
 TEL 048-424-3684
 FAX 048-424-3854
 E-mail inoue_airline@yahoo.co.jp

埼玉県議会議員

井上わたるの

34歳 無所属



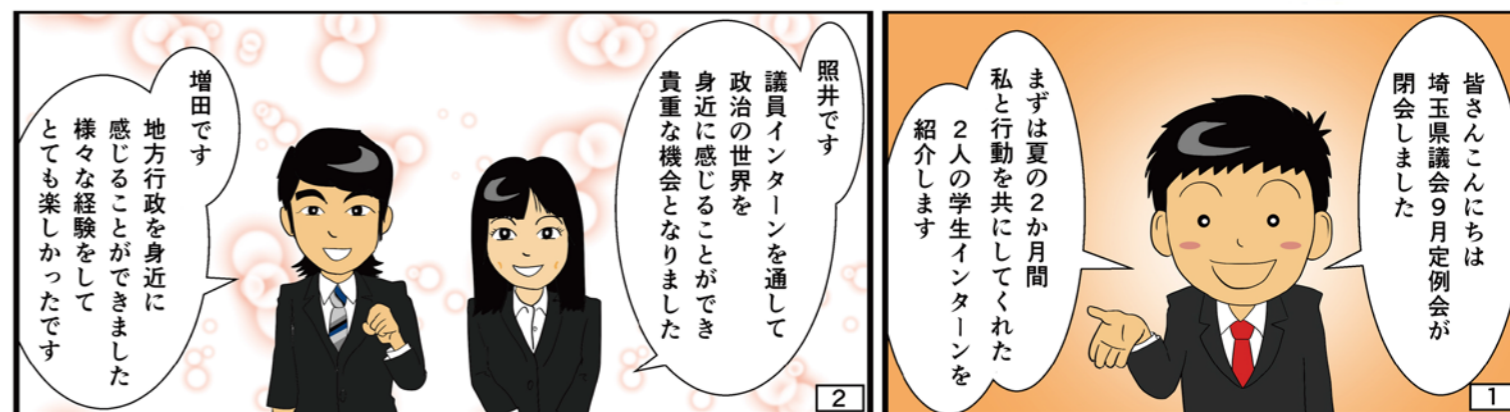
県政報告

配るホームページ第43号

あなたは 77万5501 番目の読者です。← 前号までにお届けした枚数です。

SAITAMA RENEWAL PARTY
 埼玉県議会 刷新の会

地域が最前線!
 Saitama



このほか
抗インフルエンザ
ウィルス薬「リレンザ」を
約14万人分追加備蓄
する件についても議会に
諮られ承認されました

埼玉県は
緊急事態に備え
今回の追加を
含め合計で
タミフル約134万人分
リレンザ約30万人分を
備蓄しています

8

それでは
9月定例会について
詳しくご報告します

「埼玉県一般会計
補正予算」をはじめ
次のような議案が
可決・成立しました

●埼玉県一般会計補正予算
63億7,767万円を追加補正
緊急防災・減災対策を中心に実施する
また東日本大震災の復興予算未施行分
8億4,073万円を国に返還することも決定した

●県立がんセンターの病床数を変更する条例改正
現在400床の病床数を、新病院では500床に増床する

●埼玉県婦人相談センター条例の改正
保護の対象を配偶者に限らず「生活の本拠を共にする
交際相手」に拡大するなど被害者保護強化のために改正
など27議案

7

さいたま赤十字病院

県立小児医療センター

新病院では
新生児集中治療室
(NICU)が
15床から30床に
増床され
病室面積も拡張
するなど
より充実した
医療体制を目指します

完成イメージ

10

そして今回の補正予算では
県立小児医療センター
(現在さいたま市岩槻区)の
さいたま新都心移転に係る
予算が計上されました

そこで
現在進められている
新病院計画について
お伝えします

県立小児医療センターは
さいたま赤十字病院と併設する
新たな総合医療拠点として
整備される予定です

9

はい
私は委員会では
次のような提案を
行いました

今後より安心な
療養環境をつくるために
力を注いでいきます

この医療拠点整備については
井上議員の所属する
「地方分権・行財政改革・
新都心整備特別委員会」でも
議題に上がりましたよね

- 「小児がん拠点病院」の特徴をもっと
前面に打ち出すこと
- 心を癒す「ホスピタルアート」の導入や、
抗菌・防臭効果などを生む「光触媒」採用
- 現在注目を集めている美味しくて
低カロリーな「病院食」の提供をするなど
付加価値のある病院食堂誘致

12

また
さいたま赤十字病院と
併設されることにより

- 特別支援学校
- 発達障害児支援機能
- 救急救命士養成機能
- 付添い家族の滞在施設
など

この他に
院内には
次のような
付加機能が整備
される予定です

- ・妊産婦と新生児双方の
あらゆるリスクに対応する
周産期医療の充実
- ・小児から高齢者まであらゆる
重篤患者に対応する高度救命
救急医療の提供が可能となります

11

なるほど県議会

「議員連盟」って何?

埼玉県議会には、マンガで紹介した「東武東上線利便性向上促進議員連盟」のような議員連盟が43も存在します。(平成25年10月現在)

「議員連盟」(略して「議連(ぎれん)」と呼びます。)とは、特定のテーマを実現・研究するために議員有志で組織した集まりのことです。私も特に力を入れたい分野や和光市の課題に繋がる17の議連に加入しています。その一端をご紹介します。(名称は一部略称です。)

例えば「医学部設置推進議連」や「防犯のまちづくり議連」は県全体の重要課題と考えて加入しています。また市議時代から取り組んできた自然再生・環境分野に関しては「川の再生・森づくり議連」や「林業活性化議連」に加わっています。そして「中小企業支援議連」、「農業振興議連」での活動を通して和光市の産業振興に繋げていきたいと考えています。

そして、2020年に東京で五輪開催が決まりました! 埼玉県議会にも「東京オリンピック・パラリンピック招致応援議員連盟」があります。自衛隊朝霞訓練場での射撃競技の開催が予定され、和光市駅は重要な発着拠点になります。私もこの応援議連の一員として、開催競技の成功と共に和光市の発展にも尽力してまいります。

まだまだ多くの争点があった 定例会報告

9月定例会では知事提案の27議案の他、議員提出議案8件も可決されました。この多くは「意見書・決議」を提出する議案ですが、そのうち、次の2つの『決議』が大きな争点となりました。

高校日本史教科書採択の再審査を求める決議

今回、県立高校8校で「実教出版」の教科書が採択されたが、当該教科書は東京都では適切でないとの通知が出され、神奈川県でも使用に再考を促す等の動きがある内容だった。また教育委員長自身も調査不足を示唆するなど県教育委員会の責任の下で採択されたとは感じにくい状況であった。生徒には正しい歴史を学び、伝統に誇りを感じられる歴史教科書の採択を願い、再審査を求める決議の提出となった。

井上(刷新の会)は「賛成」⇒議会として「可決」

新たな森建設の執行停止を求める決議

春日部市に建設が予定されている県営公園「新たな森(仮称)」について、「候補地選定に疑義がある」として事業執行を行わないよう自民党が提案。しかし、この事業は平成25年度予算で自民党を含め賛成多数で認めてきた事業であり、極めて異例の内容である。刷新の会として所管する都市整備部にも調査を行った結果、決議内容には賛成できない、とした。提出者以外の会派では共産党のみが同調する結果となった。

井上(刷新の会)は「反対」⇒議会として「可決」

視察報告

会派「刷新の会」で福島県を視察しました。福島県庁では『復興計画』の進捗について伺い、また飯館村・南相馬市を訪問し、被災地の現状を見てまいりました。



飯館村 菅野典雄 村長(写真中央)と面談
現在、飯館村は警戒区域指定を受けています。村民1人ひとりの復興を目指す菅野村長の取組についてお話を伺いました。



除染作業を視察
中間貯蔵施設の建設が進まず写真のような仮置き場の確保も困難な状況。進め除染作業の実態を垣間見ました。



南相馬市の警戒区域を視察
初めて警戒区域に入りました。津波の瓦礫もまだ残ったままの地域も多くあります。また2年半以上手付かずの帯では身の丈以上に植物が覆って茂っていました。